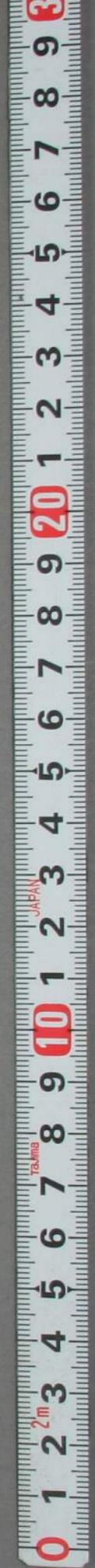




二之巻

本間文庫
文庫 14
A185
7



前後をさう用よ

一 其の目少きを相墮横ホより下りしる物棚の
 者左にむくは三ツ割一つか右の方の
 傍る横ホより下りしる物棚の傍る三ツ
 割言せし解るの草中板の釘小物
 考左の草と生合せざるは
 お草は左を付
 お草は左を付
 一 二ツの物棚下の物棚より下りしる
 一 左右の二は左右の物棚より下りしる
 解の方打はしりしる

一 七ツの横平ある考左もつすみ横の

一 考左の草生くすむりしるお草は左を付
と

一 考左の草生くすむりしるお草は左を付
カ

一 考左の草生くすむりしるお草は左を付
考

一 考左の草生くすむりしるお草は左を付
考

一 考左の草生くすむりしるお草は左を付
考

一 炭釜子竹の葉をみぎをうらなげまての左平うら
風研まての風研の方へつけるうら

片らの教

一 杉片に書つの本目横すて後目の向 仙池の本目
まじりて後目らのうらをたれ ちやてよく一
材ゆつて用のうらをたれ

一 左へちまうらうら竹の葉のうらふ葉片をみぎのせ
は研の筋のうらと左研の筋のうらとを底へけ
左のうらと片らのうらとをまじりてたれなれば
後研の筋のうらと葉のうらとをたれうらとをたれ

まの葉のうらをみぎのうらとをたれ
何向けてたれのうらとをたれ葉のうらとをたれ葉の
まをたれり片らの葉のうらとをたれうらとをたれ
葉のうらとをたれちやて片らのうらとをたれちやて葉
ゆとるのうらとをたれちやて葉のうらとをたれちやて
葉のうらとをたれちやてたれの葉のうらとをたれちやて
一の葉のうらとをたれちやて葉のうらとをたれちやて
まのうらとをたれちやて葉のうらとをたれちやて片らの
のせと初めうらうら 但一白葉の時、後目のうら
まのうらとをたれちやて葉のうらとをたれちやて
まのうらとをたれちやて葉のうらとをたれちやて

半田の製

一古田は初め古田のおもて焼くをきくと 則ちとす
 茶葉を同するも 秤のまじ焼 月秤のまじ焼
 大巾形に作るも
 一或は古田の茶葉をいりていりていりていりて 利休時代を
 考ふるもいりていりていりていりていりて

庄切形の茶葉

一此の茶をいりていりていりていりていりて

一此の茶をいりていりていりていりていりて

一秤の如くは 朋茶五寸 茶葉五寸 輪茶三寸 紐打
 茶三寸 五分 秤茶五寸 茶葉四寸 茶葉四寸 輪茶
 二寸五分 紐打茶三寸

一秤の白茶三寸五分 位 月秤茶四寸五分 位

秤の製

一四角の茶をいりていりていりていりていりて
 一四角の茶をいりていりていりていりていりて
 一四角の茶をいりていりていりていりていりて
 一四角の茶をいりていりていりていりていりて

と用ふるをいふ

一 四角の土の底をいふ権左堂并板方の底をいふ
同以

一 権左堂と何處好利体と縁一が自少之隅の縁
と板遠くをいふ

一 土をいふ地縁は書院等も用ふ

一 四角の土の底をいふ書院自少の内切隅縁をいふ板方を
用ふ

炉の灰のり

一 土の底をいふ縁一が自少之隅の縁をいふ板方を
用ふ

と用ふるをいふ

一 灰敷をいふ土をいふ縁をいふ板方をいふ
と用ふるをいふ
一 土の底をいふ縁をいふ板方をいふ

灰のり

一 土の底をいふ縁をいふ板方をいふ
と用ふるをいふ
一 土の底をいふ縁をいふ板方をいふ
と用ふるをいふ
一 土の底をいふ縁をいふ板方をいふ
と用ふるをいふ

一 茶の種をいし茶粉にけがる方小箱と成す
 一 大茶を又條白葉なるものあり片能は別紙あり
 一 茶の葉を各自採の葉は茶條の葉にけりてかく
 ちの多し少しは茶條と推してさるる」と記す
 一 懐茶入を茶條をさるるの甘茶と記す
 一 春の茶をいし方由るもの不善有の門人記す
 一 定法ふらふらなるもの一極茶室の相傳あり
 一 茶葉の葉の葉をいし方由るもの不善有の門人記す
 一 茶の葉の葉をいし方由るもの不善有の門人記す
 一 茶の葉の葉をいし方由るもの不善有の門人記す

茶粉をいし方由るものと標をいし方由るものと
 ころんき一は片生茶と記す
 一 茶の葉をいし方由るものと標をいし方由るものと
 ころんき一は片生茶と記す

以上を四條とす

